

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆高齢者29.4%で最高更新 就業者の7人に1人、総務省推計

・敬老の日になんで総務省が公表した人口推計によると、65歳以上の高齢者は3619万人。総人口に占める割合は29.4%で過去最高を更新し、人口4千万人以上の国の中でトップ。高齢者の就業者数も930万人と21年連続で増加し、過去最多を更新。働く人の7人に1人が高齢者。少子化による働き手不足も背景にありそう。

◆実家じまい「売却」が最多の3割 7割が「親子で相談していない」

・親が住まなくなった実家を整理・処分する「実家じまい」が進んでいない。マンション買い取り再販を手掛けるすむたす(東京・中央)の調査では、親・子世代の7割が実家の処分について会話したことがなかった。団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降は「大相続時代」を迎えるとされ、社会課題になりそう。

◆「社会インフラ職」月収5万円低く 労働白書原案、福祉・運輸の賃上げ促す

・厚生労働省がまとめる2025年の労働経済の分析(労働経済白書)の原案が分かった。医療や福祉、運輸、建設、飲食などで働く人を「社会インフラ関連職」と定義。ほかの職種と比べて平均5万円ほど低いと分析した。年齢別の賃金カーブも緩く、技能や経験に応じて賃金が上昇する仕組みの導入を促す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆リフォーム・リニューアル受注高 住宅は2.2%減 25年1Q調査

・国土交通省が発表した2025年度第1四半期受注分の「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」によると、受注高の合計は前年同期比7.6%増の4兆1069億円となった。このうち住宅に係る工事の受注高は1兆1698億円で同2.2%減少した。一方、非住宅建築物に係る工事の受注高は2兆9371億円で同12.0%増加している。

◆首都圏8月の中古住宅市場 戸建て、マンションとも成約件数10カ月連続増加

・東日本不動産流通機構が公表した首都圏における8月度の中古住宅市場は、戸建て住宅が成約・在庫件数ともに増加。成約価格も上昇。一方、マンションは、成約件数は増加、在庫件数は2カ月ぶりの減少となった。成約平米単価は64カ月連続で上昇。中古戸建て住宅の成約件数は、前年同月比69.4%増と10カ月連続で増加。

◆木造住宅の8月建設費指数 前月から0.3%下落—建設物価調査会

・建設物価調査会が公表した2025年8月分の「建設物価建築費指数」によると、木造住宅の工事原価指数(暫定値)は143.2となり、前月比で横ばい、前年同月比で3.4%の上昇となった。東京都内の傾向をみると、軽油価格高騰による運搬工の値上がりや、オペレーター人件費の上昇によるクレーン工事費の値上がりなどが押し上げ要因。

《 注目商品 》

■パナソニック、「脱・脱衣所」「多用途」な洗面化粧台

・普及価格帯の洗面化粧台・C-Lineから、多用途に使えるカウンター長さを確保し、洗面台下の自由度を高めた新プラン「フロートワイドカウンタープラン(Wall to Wallタイプ)」を発売。最大対応幅1700mmのロングカウンターを採用。収納の引き出しをつけず多目的に使える。



■YKKAP、門扉シリーズをリニューアル

・「エクスティアラ」「ルシアス」「シャローネ」門扉シリーズの31デザインに電気錠「ポケットキーシステム」を搭載。同社の玄関ドアで多く採用されているスマートコントロールキーとの連動で、門扉と玄関ドアを1つの鍵で施解錠できる。



■ウッドワン、無垢の木のキッチン「スイージー」

・無垢の木を使ったキッチン「su:iji(スイージー)」の扉に12年ぶりに新樹種として国産の檜(ヒノキ)を追加。ヒノキ本来の白に近い色調を表現するため、材を厳選し、赤身・白太の色差を抑えるためにクリアホワイト塗装をほどこした。

